武　一　中

令和７年１月８日
武蔵野市立第一中学校
学校だより R6－19 号

URL:https://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

鍛える

校　長　　中嶋　建一郎

去年の 12 月頃に 1 年生の学年だよりの取材を受けました。「2024 年、今年の漢字は何ですか？」というものでした。1 年生は知っていると思いますが、私は「新」を選びました。それは 1 年を振り返ってみると、2024 年に我が家の家電が次々と壊れてしまい、冷蔵庫、エアコン、テレビが新しくなったからです。もっと意味のある漢字を選べなかったのかと少し後悔していました。

それで、考えついたのです。今年の漢字を年の初めに考えて、そうなるような 1 年にしたらどうかと。目標を漢字 1 文字に込めようというものです。クラスによっては、これまでにやったことがあるかもしれません。私は初めてです。

そして決めた漢字が「鍛」です。

皆さんは「鍛」という漢字からどんな言葉を思い浮かべるでしょうか。私は「鍛える」を考えて決めています。「身体を鍛える」とか「頭を鍛える」などです。「鍛える」には「練習を繰り返し、技術や精神をしっかりしたものにする」という意味があります。

30 年ほど前ですが、サッカーの国際審判員の岡田正義さんという方の話で、とても印象に残っている内容があります。それは、「40 歳を過ぎると、体力は現状維持を目指すと落ちていく、向上を目指してやっと現状維持ができる」というものです。その話を聞いた 30 代の頃は「ふーん、そうなんだ」という感じでしたが、今はよくわかります。皆さんとは違い、様々なことについて鍛えなければ衰える一方です。

さて、「鍛える」には別の使い方があります。「刀を鍛える」という言葉を聞いたことがありますか。こちらの「鍛える」は「高温で熱した金属を繰り返し打ったり水で冷やしたりして硬度・密度などを高め、良質のものにする」という意味です。「鍛錬する」という表現もあります。

よく鍛えられた刀、特に日本刀は「折れず、曲がらず、よく切れる」と言われるほど強靭な武器でした。日本刀の材料となる鉄は炭素が多く含まれていると硬くなり、同時にもろい・折れやすい性質になります。反対に、炭素が少ないと柔らかい鉄になります。日本刀は、刃の部分や外側に炭素が多い硬い鉄を使い、刀の中心部分には、炭素が少ない柔らかい鉄を使います。この調整をすることで、粘りのある強靭な刀を作ることができるのです。

私は目標の「鍛える」にこの刀を作るイメージも併せて考えたいと思っています。練習を繰り返しながら身体や頭を研ぎ澄まされた状態にし、硬さとしなやかさを併せ持った精神を手に入れたいと欲張っています。

皆さんは、どんな一年にしたいですか？
一文字で表すとどんな漢字ですか？